

インフォシス、Google Cloud Specialization のクラウド移行部門で 2021 年度パートナー賞を受賞

インフォシス Cobalt と Google Cloud を活用、
企業の Google Cloud 導入の高速化に着実な成功を収める

バンガロール (インド) – 2022 年 7 月 6 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、Google Cloud Specialization のクラウド移行部門で 2021 年度の年間パートナー賞を受賞したことを発表しました。

インフォシスは Google Cloud エコシステムにおいて、Google Cloud へのワークロード移行の高速化によりシームレスな移行を可能にした実績を高く評価されています。今回の受賞は Google Cloud との協業により培われた深い専門知識および [Infosys Cobalt](#) の一部として開発された機能が高く評価されたものです。これらを利用して、スケーラブルなオンデマンドのクラウドモデルを作成し、企業がデジタル変革の道筋を見出し、クラウドファースト戦略を導入するための支援を行います。

インフォシスは Google Cloud と共同で、クラウド変革および移行サービスの設計と開発を行っています。これらは、クラウド移行評価フレームワーク、クラウド安定性評価フレームワーク、およびワークロード移行スイートなどのインフォシス Cobalt の資産を活用している各種業界の企業向けに用意されているものです。こうした設計や開発により、企業はより優れたビジネスの成果を促進し、リスクを最小化する一方で、規制基準にも適合してきました。

インフォシスは一貫して革新的な思考を発揮し、特に秀でた顧客感動を達成してきました。これは Google Cloud とインフォシス Cobalt の資産を活用した、業界の先端を行くソリューションの開発により実現しています。こうしたソリューションには Infosys Media Platform があり、このサービスでインフォシスは 2020 年に、Google Cloud Industry Solutions のメディア & エンターテインメント部門の年間パートナー賞を受賞しています。さらに、インフォシスは Google Cloud Cortex Framework のサービス開始にあたり創設パートナーに選出され、Google Cloud Partner Specialization においてクラウド移行、インフラストラクチャ、データおよびアナリティクスの各部門で認定を取得しました。

Google Cloud のグローバル・システムインテグレーター・パートナーシップ担当マネージングディレクターの Victor Morales 氏 は次のように述べています。「Google Cloud Specialization は、特定の製品分野におけるパートナーの卓越性とカスタマーサクセスの実績を評価するものです。パートナーが保有する認定、カスタマーサクセスが繰り返し実現されていること、および技術的能力の高さに基づき、弊社は満を持してインフォシスをクラウド移行専門年間パートナーとして評価いたします。」

インフォシスの社長 Ravi Kumar S. は次のように述べています。「Google Cloud から高い評価を受けたことを大変喜んでおります。今日の企業はハイブリッドおよびマルチクラウド環境で運用を行い、パートナーに対しては強力な基盤の構築と、最小限のリスクでシームレスなワークロード移行を行うよう要求しています。弊社の市場をリードする革新的なサービスである Infosys Cobalt を Google Cloud 上に展開して活用することで、企業はクラウドへの移行を大幅に高速化でき、ダイナミックなビジネス環境においてデジタル変革のアジェンダを推進できます。」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、30 万人以上の従業員とともに、人間の可能性を高め、人・ビジネス・コミュニティの次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家として、50 か国以上のお客様のクラウド活用によるデジタル変革への道のりを推進します。当社は AI 駆動型コアを利用してお客様の変革を実現し、大規模なデジタル・アジャイルでビジネスに力を与え、常に学ぶ姿勢で、デジタル・スキルの移転を通じてお客様の継続的改善を推進しています。インクルーシブな職場で多様な人材が活躍する、効果的に統率された、環境面で持続可能な組織であることに全力を注いでいます。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com 09010450448